



# ストレージの制限

## Cloud Volumes ONTAP release notes

NetApp  
February 13, 2026

# 目次

ストレージの制限	1
AWS の Cloud Volumes ONTAP でのストレージの制限	1
ライセンス別の最大システム容量	1
アグリゲートの制限	2
ディスクおよび階層化の制限は EC2 インスタンスごとに適用されます	2
Storage VM の制限	5
ファイルとボリュームの制限	8
iSCSI ストレージの制限	8
Azure での Cloud Volumes ONTAP のストレージの制限	9
ライセンス別の最大システム容量	9
アグリゲートの制限	10
ディスクおよび階層化の制限を VM のサイズごとに設定します	10
Storage VM の制限	18
ファイルとボリュームの制限	19
iSCSI ストレージの制限	19
Google CloudでのCloud Volumes ONTAPのストレージ制限	20
ライセンス別の最大システム容量	20
アグリゲートの制限	21
ディスクと階層化の制限	21
Storage VM の制限	22
論理ストレージの制限	23
iSCSI ストレージの制限	23
Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック	24

# ストレージの制限

## AWS の Cloud Volumes ONTAP でのストレージの制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

最大システム容量には、ディスクベースのストレージと、データ階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。

NetApp はシステム容量制限の超過をサポートしていません。ライセンス容量の制限に達した場合、NetApp コンソールにアクションが必要なメッセージが表示され、ディスクを追加できなくなります。

一部の構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して容量制限に達することができません。その場合、容量の制限に達することができます。"使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"。詳細については、以下の容量とディスクの制限を参照してください。

### 容量ベースのライセンスの容量制限

容量ベースのライセンスにより、各 Cloud Volumes ONTAP システムはオブジェクトストレージへの階層化をサポートします。階層化された合計容量は、クラウドプロバイダーのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、"『FabricPool のベストプラクティス』" 階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保します。参照 "AWS のドキュメント" 詳細についてはこちらをご覧ください。

### 他のライセンスタイプの容量制限

使用許諾	最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)
フリーミアム	500 GiB
PAYGO Explore	2TiB (Explore ではデータ階層化はサポートされません)
PAYGO Standard の略	10TiB
PAYGO Premium	368TiB
ノードベースのライセンス	2PiB (複数のライセンスが必要)

### HA の場合、ライセンスの容量制限はノード単位か、HA ペア全体に適用されるか

容量制限は HA ペア全体に適用されます。ノードごとではありません。たとえば、プレミアムライセンスでは、両方のノードで最大 368 TiB が許可されます。

### AWS の HA システムでは、ミラーリングされたデータは容量制限にカウントされますか。

いいえ、違います。AWS HA ペアのデータはノード間で同期的にミラーリングされるため、障害発生時にもデータを利用できます。たとえば、ノード A で 8 TiB のディスクを購入した場合、コンソールはミラーリングされたデータに使用されるノード B にも 8 TiB のディスクを割り当てます。16 TiB の容量がプロビジョニングされましたが、ライセンス制限にカウントされるのは 8 TiB のみです。

## アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP はEBSボリュームをディスクとして使用し、アグリゲートにグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限 (Limit)
アグリゲートの最大数	1つのノード：ディスクリミットの HA ペアと同じです：ノード ^1 の 18
最大アグリゲートサイズ <sup>2</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 96TiB の物理容量</li><li>• Elastic Volumesの場合、128TiBの物理容量<sup>3</sup></li></ul>
アグリゲートあたりのディスク数 <sup>4</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 1 ~ 6</li><li>• 弾性ボリューム付き 4 または 8<sup>3</sup></li></ul>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	2

注：

1. データ ディスクの制限を超えてしまうため、HA ペアの両方のノードに 18 個のアグリゲートを作成することはできません。
2. 最大集約サイズはディスクによって異なり、データ階層化に使用するオブジェクト ストレージは含まれません。
3. Amazon EBS Elastic Volumes 機能をサポートする構成の場合、アグリゲートには最大 8 個のディスクを含めることができ、最大 128 TiB の容量が提供されます。デフォルトでは、Cloud Volumes ONTAP 9.11.0 以降のシステムでは、gp3 または io1 ディスクを使用する場合、Amazon EBS Elastic Volumes が有効になっています。"[Elastic Volumesのサポートに関する詳細情報](#)"
4. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## ディスクおよび階層化の制限は EC2 インスタンスごとに適用されます

容量制限は、使用する EC2 インスタンスタイプファミリーと、単一ノードシステムを使用しているか HA ペアを使用しているかによって異なります。

次のメモは、下の表に表示される数値の詳細を示しています。

- ディスク制限はユーザデータが格納されたディスクに固有です。  
この制限には、ブートディスクとルートディスクは含まれていません。
- ディスクのみを使用する場合、およびディスクとオブジェクトストレージへのコールドデータ階層化を使用する場合は、最大システム容量が表示されます。
- Cloud Volumes ONTAP は EBS ボリュームをディスクとして使用し、最大ディスクサイズは 16TiB です。

## 容量ベースのライセンスのさまざまな展開モードの制限

容量ベースのライセンスパッケージを使用するCloud Volumes ONTAP システムには、次のディスク制限が適用されます。"[Cloud Volumes ONTAP のライセンスオプションについて説明します](#)"



単一ノードおよびHA構成の最大システム容量とデータ階層化容量の制限については、以下を参照してください。 [\[cap-license-aws\]](#)。

#### シングルノード

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量
C5、m5、および r5 インスタンス	21	336 TiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	19 <sup>1</sup> ^	304 TiB

- このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

#### HA ペア

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量
C5、m5、および r5 インスタンス	18	288TiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	16 <sup>1</sup> ^	256TiB です

- このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

#### ノードベースライセンスのさまざまな展開モードの制限

次のディスク制限は、ノード単位のライセンスをCloud Volumes ONTAP に付与することが可能な旧世代のライセンスモデルであるノードベースのライセンスを使用するCloud Volumes ONTAP システムに適用されます。既存のお客様は、ノードベースのライセンスを引き続き利用できます。

Cloud Volumes ONTAP BYOLシングルノードまたはHAペアシステム用に複数のノードベースライセンスを購入して、368TiBを超える容量を割り当てることができます（テストおよびサポートされるシステム容量の上限である2PiBまで）。ディスク制限によって、ディスクだけを使用することで容量制限に達することがないことに注意してください。を使用すると、ディスク制限を超えることができます ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。 ["Cloud Volume にシステムライセンスを追加する方法について説明します ONTAP"](#)。Cloud Volumes ONTAPでは、テストおよびサポートされる最大システム容量2PiBまでサポートされますが、2PiBの制限を超えると、サポートされないシステム構成になります。

AWS Secret CloudリージョンとTop Secret Cloudリージョンでは、Cloud Volumes ONTAP 9.12.1以降で複数のノードベースライセンスの購入がサポートされます。

**PAYGO Premium**では1つのノード

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
C5、m5、および r5 インスタンス	21 <sup>^</sup> 1 <sup>^</sup>	336 TiB	368TiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	19 <sup>2</sup>	304 TiB	368TiB

1. Cloud Volumes ONTAP の `_NET_Deployments` には、21 本のデータディスクが制限されています。バージョン 9.7 以前で作成されたシステムをアップグレードしても、22 本のディスクが引き続きサポートされます。9.8 リリース以降のコアディスクが追加されているため、これらのインスタンスタイプを使用する新しいシステムでは、サポートされるデータディスクは 1 本少なくなります。
2. このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

**BYOL**によるシングルノード

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量 (1 ライセンス)		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
C5、m5、および r5 インスタンス	21 <sup>^</sup> 1 <sup>^</sup>	336 TiB	368TiB	336 TiB	2 PiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	19 <sup>2</sup>	304 TiB	368TiB	304 TiB	2 PiB

1. Cloud Volumes ONTAP の `_NET_Deployments` には、21 本のデータディスクが制限されています。バージョン 9.7 以前で作成されたシステムをアップグレードしても、22 本のディスクが引き続きサポートされます。9.8 リリース以降のコアディスクが追加されているため、これらのインスタンスタイプを使用する新しいシステムでは、サポートされるデータディスクは 1 本少なくなります。
2. このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

**PAYGO Premium**でHAペアを構成

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
C5、m5、および r5 インスタンス	18 <sup>1</sup> ^ 1 <sup>1</sup>	288TiB	368TiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	16 <sup>2</sup>	256TiB です	368TiB

- 18本のデータディスクは、Cloud Volumes ONTAP の `_new_Deployments` の制限です。バージョン 9.7 以前で作成されたシステムをアップグレードしても、システムでは 19本のディスクが引き続きサポートされます。9.8 リリース以降のコアディスクが追加されているため、これらのインスタンスタイプを使用する新しいシステムでは、サポートされるデータディスクは 1本少なくなります。
- このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

#### BYOLによるHAペア

インスタンス	ノードあたりの最大ディスク数	最大システム容量（1 ライセンス）		複数のライセンスを持つ最大システム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + データ階層化 *
C5、m5、および r5 インスタンス	18 <sup>1</sup> ^ 1 <sup>1</sup>	288TiB	368TiB	288TiB	2 PiB
<ul style="list-style-type: none"> <li>m5dn.24xlarge</li> <li>m6id.32xlarge (m6id.32xlarge)</li> </ul>	16 <sup>2</sup>	256TiB です	368TiB	256TiB です	2 PiB

- 18本のデータディスクは、Cloud Volumes ONTAP の `_new_Deployments` の制限です。バージョン 9.7 以前で作成されたシステムをアップグレードしても、システムでは 19本のディスクが引き続きサポートされます。9.8 リリース以降のコアディスクが追加されているため、これらのインスタンスタイプを使用する新しいシステムでは、サポートされるデータディスクは 1本少なくなります。
- このインスタンスタイプのローカル NVMe ディスクの数は他のインスタンスタイプよりも多く、サポートされるデータディスクの数が少なくなります。

#### Storage VM の制限

一部の構成では、Cloud Volumes ONTAP 用に Storage VM（SVM）を追加で作成することができます。

"Storage VM を追加で作成する方法について説明します"。

ライセンスタイプ	Storage VM の最大数
* Freemium *	合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^
* 容量ベースの PAYGO または BYOL * <sup>3</sup>	合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^
* ノードベースの PAYGO *	<ul style="list-style-type: none"><li>• データ提供用の Storage VM × 1</li><li>• ディザスタリカバリ用の Storage VM × 1</li></ul>
* ノードベースの BYOL * <sup>4</sup>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^</li></ul>

1. 使用する EC2 インスタンスタイプによっては、上限値がそれよりも低くなる可能性があります。インスタンスあたりの制限は、以下のセクションに記載されています。
2. これらの 24 個の Storage VM からデータを提供することも、ディザスタリカバリ（DR）用に設定することもできます。
3. 容量ベースのライセンスの場合、追加の Storage VM には追加のライセンスコストは発生しませんが、Storage VM 1 台あたり最低容量は 4TiB 課金されます。たとえば、2 台の Storage VM を作成し、それぞれに 2TiB のプロビジョニング済み容量がある場合、合計で 8TiB の容量が請求されます。
4. ノードベースの BYOL の場合、デフォルトでは、Cloud Volumes ONTAP に付属する最初の Storage VM 以降の追加の DATA Serving\_storage VM ごとにアドオンライセンスが必要です。アカウントチームにお問い合わせして Storage VM アドオンライセンスを取得してください。

ディザスタリカバリ（DR）用に設定する Storage VM には追加ライセンスは必要ありませんが（無償）、Storage VM の数は制限に含まれます。たとえば、ディザスタリカバリ用に設定されたデータ提供用の Storage VM が 12 台ある場合、上限に達し、それ以上 Storage VM を作成できません。

### EC2 インスタンスタイプごとに Storage VM の制限が設定されています

Storage VM を追加で作成する場合は、ポート e0a にプライベート IP アドレスを割り当てる必要があります。次の表に、インターフェイスごとのプライベート IP の最大数と、Cloud Volumes ONTAP の導入後にポート e0a で使用可能な IP アドレスの数を示します。使用可能な IP アドレスの数は、その構成での Storage VM の最大数に直接影響します。

次のインスタンスは、C5、m5、および r5 インスタンスファミリーを対象としています。

設定	インスタンスタイプ	インターフェイスあたりのプライベート IP の最大数	展開後の IPS の残り時間 ^1	管理 LIF がない Storage VM の最大数 ^2、3^	管理 LIF を使用している Storage VM の最大数 ^2、3^
* シングルノード *	*。 x ラージ	15	9.	10.	5.
	*.2xlarge	15	9.	10.	5.
	*.< : と入力します	30	24	24	12.
	*。 8xlarge	30	24	24	12.
	*。 9xlarge	30	24	24	12.
	*。 12xlarge	30	24	24	12.
	*.16 x ラージ	50	44	24	12.
	*. 18 倍	50	44	24	12.
	*. 24xlarge	50	44	24	12.
* 単一の AZ* で HA ペア	*。 x ラージ	15	10.	11.	5.
	*.2xlarge	15	10.	11.	5.
	*.< : と入力します	30	25	24	12.
	*。 8xlarge	30	25	24	12.
	*。 9xlarge	30	25	24	12.
	*。 12xlarge	30	25	24	12.
	*.16 x ラージ	50	45	24	12.
	*. 18 倍	50	45	24	12.
	*. 24xlarge	50	44	24	12.
* 複数の AZ にまたがる HA ペア *	*。 x ラージ	15	12.	13	13
	*.2xlarge	15	12.	13	13
	*.< : と入力します	30	27	24	24
	*。 8xlarge	30	27	24	24
	*。 9xlarge	30	27	24	24
	*。 12xlarge	30	27	24	24
	*.16 x ラージ	50	47	24	24
	*. 18 倍	50	47	24	24
	*. 24xlarge	50	44	24	12.

1. この数値は、Cloud Volumes ONTAP の導入とセットアップ後にポート e0a で使用可能な残りのプライベート IP アドレスの数を示します。たとえば、\*.2xlarge システムでは、ネットワークインターフェイスご

とに最大 15 の IP アドレスがサポートされます。単一の AZ に HA ペアを導入すると、5 つのプライベート IP アドレスがポート e0a に割り当てられます。そのため、インスタンスタイプが \*.2xlarge の HA ペアでは、追加の Storage VM 用にプライベート IP アドレスが 10 個残っています。

- これらの列にリストされる数には、コンソールがデフォルトで作成する初期ストレージ VM が含まれます。たとえば、この列に 24 と表示されている場合は、合計 24 台の追加ストレージ VM を 23 台作成できることを意味します。
- Storage VM の管理 LIF はオプションです。管理 LIF は、SnapCenter などの管理ツールへの接続を提供します。

プライベート IP アドレスが必要なため、追加で作成できる Storage VM の数が制限されます。ただし、複数の AZ にまたがる HA ペアは例外です。この場合、管理 LIF の IP アドレスは `_floating_ip` アドレスであるため、`_private_ip` 制限にはカウントされません。

## ファイルとボリュームの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 (Limit)
* ファイル *	最大サイズ <sup>2</sup>	128 TB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>1</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ <sup>3</sup>	300TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

- クローン階層の深さは、1 つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。
- ONTAP 9.12.1P2以降では、上限は128TBです。ONTAP 9.11.1以前のバージョンでは、最大16TBです。
- 次のツールと最小バージョンを使用して、最大サイズ300TiBまでのFlexVolボリュームを作成できます。
  - System ManagerとONTAP CLI (Cloud Volumes ONTAP 9.12.1 P2および9.13.0 P2以降)
  - Cloud Volumes ONTAP 9.13.1から

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 ( Limit )
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	32
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## Azure での Cloud Volumes ONTAP のストレージの制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

Cloud Volumes ONTAP システムの最大システム容量はライセンスで決まります。最大システム容量には、ディスクベースのストレージに加えて、データの階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。

NetApp はシステム容量制限の超過をサポートしていません。ライセンス容量の制限に達した場合、NetApp コンソールにアクションが必要なメッセージが表示され、ディスクの追加がブロックされます。

#### 容量ベースのライセンスの容量制限

容量ベースのライセンスにより、各Cloud Volumes ONTAPシステムはオブジェクト ストレージへの階層化をサポートします。階層化された合計容量は、クラウド プロバイダーのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、"[『FabricPoolのベストプラクティス』](#)"階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保します。参照 "[マネージド ディスクに関する Azure ドキュメント](#)"そして "[BLOB ストレージに関する Azure ドキュメント](#)"。

#### 他のライセンスタイプの容量制限

使用許諾	最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)
フリーミアム	500 GiB
PAYGO Explore	2TiB ( Explore ではデータ階層化はサポートされません)
PAYGO Standard の略	10TiB

使用許諾	最大システム容量（ディスク + オブジェクトストレージ）
PAYGO Premium	368TiB
ノードベースのライセンス	2PiB（複数のライセンスが必要）

HA の場合、ライセンスの容量制限はノード単位か、HA ペア全体に適用されるか

容量制限は HA ペア全体の容量制限です。ノード単位ではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TiB の容量を確保できます。

## アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP は Azure ストレージをディスクとして使用し、これらを *Aggregate\_* にグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限（Limit）
アグリゲートの最大数	ディスクリミットと同じ
最大アグリゲートサイズ <sup>1</sup> <sup>2</sup>	シングルノードの場合は38TiBの物理容量。 <sup>2</sup> 352TiB。PAYGOでは96TiBの物理容量をHAペア用に使用し、管理対象ディスクの場合は、ページblob 38TiBの物理容量を使用します
アグリゲートあたりのディスク数	1-12 <sup>3</sup>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	1.

注：

1. アグリゲートの容量の制限は、アグリゲートを構成するディスクに基づいています。データの階層化に使用されるオブジェクトストレージは制限に含まれません。
2. ノードベースのライセンスを使用する場合、384 TiB に到達するには 2 つの BYOL ライセンスが必要です。
3. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## ディスクおよび階層化の制限を VM のサイズごとに設定します

容量制限は、VM のサイズとシステム タイプ (単一ノードまたは HA ペア) によって異なります。

以下の注記は、表内の数字について説明しています。

- ディスク制限はユーザデータが格納されたディスクに固有です。  
これらの制限には、ルートディスク、コアディスク、VNVRAM は含まれません。
- ディスクのみを使用する場合と、ディスクとコールド データ階層化をオブジェクト ストレージに使用した場合の最大システム容量を確認できます。
- 管理対象ディスクを使用するシングルノードシステムおよびHAシステムの場合、ディスクあたりの最大容量は32TiBです。サポートされるディスクの数は VM のサイズによって異なります。
- ページBLOBを使用するHAシステムでは、ページBLOBごとに最大8TiBが割り当てられます。サポートさ

れるディスクの数は VM のサイズによって異なります。

- 特定の VM サイズの単一ノード システムに対してリストされている 896 TiB のディスクベースの制限は、\_テスト済み\_の制限です。

#### 容量ベースのライセンスのさまざまな展開モードの制限

容量ベースのライセンス パッケージを使用するCloud Volumes ONTAPシステムには、次のディスク制限が適用されます。"[Cloud Volumes ONTAP のライセンスオプションについて説明します](#)"。



単一ノード、ページブロブを含む単一アベイラビリティゾーン内のHAペア、および共有マネージドディスクを含む単一および複数のアベイラビリティゾーン内のHAペアの最大システム容量とデータ階層化容量制限については、以下を参照してください。[[cap-license-azure](#)]。

#### シングルノード

VM サイズ	ノードあたりの MAX Data ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量
DS4_v2	29	896TiB
DS5_v2 の場合	61	896TiB
DS13_v2 の場合	29	896TiB
DS14_v2	61	896TiB
DS15_v2 の場合	61	896TiB
E4s_v3	5.	160TiB
E8s_v3	13	416TiB
E32s_v3	29	896TiB
E48s_v3	29	896TiB
E64is_v3	29	896TiB
E4ds_v4	5.	160TiB
E8ds_v4	13	416TiB
E32ds_v4	29	896TiB
E48ds_v4	29	896TiB
E80ids_v4	61	896TiB
E4ds_V5	5.	160TiB
E8ds_V5	13	416TiB
E20ds_V5	29	896TiB
E32ds_V5	29	896TiB
E48ds_V5	29	896TiB
E64ds_V5	29	896TiB
L8s_v3	12.	384 TiB

VM サイズ	ノードあたりの <b>MAX Data</b> ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量
L16s_v3	28	896TiB
L32s_v3	28	896TiB
L48s_v3	28	896TiB
L64s_v3	28	896TiB

ページ**BLOB**を使用する単一のアベイラビリティゾーン内のHAペア

VM サイズ	HA ペア用の <b>MAX Data</b> ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量
DS4_v2	29	232TiB
DS5_v2 の場合	61	488 TiB
DS13_v2 の場合	29	232TiB
DS14_v2	61	488 TiB
DS15_v2 の場合	61	488 TiB
E8s_v3	13	104TiB 未満
E48s_v3	29	232TiB
E8ds_v4	13	104TiB 未満
E32ds_v4	29	232TiB
E48ds_v4	29	232TiB
E80ids_v4	61	488 TiB

管理対象ディスクを共有する単一のアベイラビリティゾーンのHAペア

VM サイズ	HA ペア用の <b>MAX Data</b> ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量
E8ds_v4	12.	384 TiB
E32ds_v4	28	896TiB
E48ds_v4	28	896TiB
E80ids_v4	28	896TiB
E8ds_V5	12.	384 TiB
E20ds_V5	28	896TiB
E32ds_V5	28	896TiB
E48ds_V5	28	896TiB
E64ds_V5	28	896TiB
L16s_v3	28	896TiB
L32s_v3	28	896TiB

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量
L48s_v3	28	896TiB
L64s_v3	28	896TiB

管理対象ディスクを共有した複数のアベイラビリティゾーンに含まれるHAペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量
E8ds_v4	12.	384 TiB
E32ds_v4	28	896TiB
E48ds_v4	28	896TiB
E80ids_v4	28	896TiB
E8ds_V5	12.	384 TiB
E20ds_V5	28	896TiB
E32ds_V5	28	896TiB
E48ds_V5	28	896TiB
E64ds_V5	28	896TiB
L16s_v3	28	896TiB
L32s_v3	28	896TiB
L48s_v3	28	896TiB
L64s_v3	28	896TiB

### ノードベースライセンスのさまざまな展開モードの制限

ノードベースのライセンスを使用するCloud Volumes ONTAPシステムには、次のディスク制限が適用されます。ノードベースのライセンスは、ノードごとにCloud Volumes ONTAP のライセンスを取得できる前世代のモデルです。ノードベースのライセンスは、既存のお客様にも引き続きご利用いただけます。

Cloud Volumes ONTAP BYOL シングルノードまたは HA ペア システムの複数のノードベースのライセンスを購入して、テスト済みおよびサポートされている最大システム容量制限である 2 PiB まで、368 TiB を超える容量を割り当てることができます。ディスク制限により、ディスクのみを使用すると容量制限に到達できなくなる可能性があることに注意してください。ディスク制限を超えるには ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。 ["Cloud Volume にシステムライセンスを追加する方法について説明します ONTAP"](#)。 Cloud Volumes ONTAP は、テスト済みおよびサポート済みの最大システム容量である 2 PiB までをサポートしており、2 PiB の制限を超えると、サポートされていないシステム構成になります。

### シングルノード

1つのノードで、ノード単位のライセンスオプションとしてPAYGO PremiumとBYOLの2つを選択できます。

PAYGO Premiumでは1つのノード

VM サイズ	ノードあたりの <b>MAX Data</b> ディスク数	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
DS5_v2 の場合	61	368TiB	368TiB
DS14_v2	61	368TiB	368TiB
DS15_v2 の場合	61	368TiB	368TiB
E32s_v3	29	368TiB	368TiB
E48s_v3	29	368TiB	368TiB
E64is_v3	29	368TiB	368TiB
E32ds_v4	29	368TiB	368TiB
E48ds_v4	29	368TiB	368TiB
E80ids_v4	61	368TiB	368TiB
E20ds_V5	29	896TiB	2 PiB
E32ds_V5	29	896TiB	2 PiB
E48ds_V5	29	896TiB	2 PiB
E64ds_V5	29	896TiB	2 PiB

BYOLによるシングルノード

VM サイズ	ノードあたりの MAX Data ディスク数	最大システム容量（1 ライセンス		複数のライセンスを持つ最大システ ム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *
DS4_v2	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
DS5_v2 の場合	61	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
DS13_v2 の場合	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
DS14_v2	61	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
DS15_v2 の場合	61	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
L8s_v2 の場合	13	368TiB	368TiB	416TiB	2 PiB
E4s_v3	5.	160TiB	368TiB	160TiB	2 PiB
E8s_v3	13	368TiB	368TiB	416TiB	2 PiB
E32s_v3	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E48s_v3	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E64is_v3	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E4ds_v4	5.	160TiB	368TiB	160TiB	2 PiB
E8ds_v4	13	368TiB	368TiB	416TiB	2 PiB
E32ds_v 4	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E48ds_v 4	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E80ids_v 4	61	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E4ds_V5	5.	160TiB	368TiB	160TiB	2 PiB
E8ds_V5	13	368TiB	368TiB	416TiB	2 PiB
E20ds_V 5	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E32ds_V 5	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E48ds_V 5	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB
E64ds_V 5	29	368TiB	368TiB	896TiB	2 PiB

## HA ペア

HAペアには、ページBLOBと複数のアベイラビリティゾーンという2つの構成タイプがあります。各構成には、2つのノードベースのライセンスオプション（PAYGO PremiumとBYOL）があります。

**PAYGO Premium**：ページBLOBを使用して1つのアベイラビリティゾーンでHAペアを構成する

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
DS5_v2 の場合	61	368TiB	368TiB
DS14_v2	61	368TiB	368TiB
DS15_v2 の場合	61	368TiB	368TiB
E8s_v3	13	104TiB 未満	368TiB
E48s_v3	29	232TiB	368TiB
E32ds_v4	29	232TiB	368TiB
E48ds_v4	29	232TiB	368TiB
E80ids_v4	61	368TiB	368TiB

**PAYGO Premium**：管理対象ディスクを共有する複数のアベイラビリティゾーン構成でのHAペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	ディスクのみの場合の最大システム容量	ディスクとデータ階層化による最大システム容量
E32ds_v4	28	368TiB	368TiB
E48ds_v4	28	368TiB	368TiB
E80ids_v4	28	368TiB	368TiB
E20ds_V5	28	896TiB	2 PiB
E32ds_V5	28	896TiB	2 PiB
E48ds_V5	28	896TiB	2 PiB
E64ds_V5	28	896TiB	2 PiB

**BYOL**：単一のアベイラビリティゾーンにページ**BLOB**があるHAペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	最大システム容量（1 ライセンス		複数のライセンスを持つ最大システ ム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *
DS4_v2	29	232TiB	368TiB	232TiB	2 PiB
DS5_v2 の場合	61	368TiB	368TiB	488 TiB	2 PiB
DS13_v2 の場合	29	232TiB	368TiB	232TiB	2 PiB
DS14_v2	61	368TiB	368TiB	488 TiB	2 PiB
DS15_v2 の場合	61	368TiB	368TiB	488 TiB	2 PiB
E8s_v3	13	104TiB 未満	368TiB	104TiB 未満	2 PiB
E48s_v3	29	232TiB	368TiB	232TiB	2 PiB
E8ds_v4	13	104TiB 未満	368TiB	104TiB 未満	2 PiB
E32ds_v 4	29	232TiB	368TiB	232TiB	2 PiB
E48ds_v 4	29	232TiB	368TiB	232TiB	2 PiB
E80ids_v 4	61	368TiB	368TiB	488 TiB	2 PiB

**BYOL**：共有管理対象ディスクを使用する複数のアベイラビリティゾーン構成のHAペア

VM サイズ	HA ペア用の MAX Data ディスク	最大システム容量（1 ライセンス		複数のライセンスを持つ最大システ ム容量	
		* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *	* ディスクのみ *	* ディスク + デー タ階層化 *
E8ds_v4	12.	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E32ds_v 4	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E48ds_v 4	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E80ids_v 4	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E8ds_V5	12.	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E20ds_V 5	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E32ds_V 5	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E48ds_V 5	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB
E64ds_V 5	28	368TiB	368TiB	368TiB	2 PiB

## Storage VM の制限

一部の構成では、Cloud Volumes ONTAP 用に Storage VM（SVM）を追加で作成することができます。

これらはテストされた制限です。追加のストレージ VM の設定はサポートされていません。

["Storage VM を追加で作成する方法について説明します"](#)。

ライセンスタイプ	Storage VM の最大数
* Freemium *	合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^
* 容量ベースの PAYGO または BYOL * <sup>3</sup>	合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^
* ノードベースの BYOL * <sup>4</sup>	合計 24 個の Storage VM の合計 ^ 1、2、^
* ノードベースの PAYGO *	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ提供用の Storage VM × 1</li> <li>ディザスタリカバリ用の Storage VM × 1</li> </ul>

1. これらの 24 個の Storage VM からデータを提供することも、ディザスタリカバリ（DR）用に設定することもできます。
2. 各 Storage VM に最大 3 つの LIF を設定できます。2 つはデータ LIF、1 つは SVM 管理 LIF です。
3. 容量ベースのライセンスの場合、追加の Storage VM には追加のライセンスコストは発生しませんが、Storage VM 1 台あたり最低容量は 4TiB 課金されます。たとえば、2 台の Storage VM を作成し、それぞれに 2TiB のプロビジョニング済み容量がある場合、合計で 8TiB の容量が請求されます。
4. ノードベースの BYOL の場合、デフォルトでは、Cloud Volumes ONTAP に付属する最初の Storage VM 以降の追加の DATA Serving\_storage VM ごとにアドオンライセンスが必要です。アカウントチームにお問い合わせして Storage VM アドオンライセンスを取得してください。

災害復旧 (DR) 用のストレージ VM にはアドオン ライセンスは必要ありませんが、ストレージ VM の制限にカウントされます。たとえば、データ サービス VM が 12 台、DR ストレージ VM が 12 台ある場合、制限に達しているため、これ以上作成することはできません。

## ファイルとボリュームの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限（Limit）
* ファイル *	最大サイズ <sup>2</sup>	128 TB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>1</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ <sup>3</sup>	300TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

1. クローン階層の深さは、1 つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。
2. ONTAP 9.12.1P2以降では、上限は128TBです。ONTAP 9.11.1以前のバージョンでは、最大16TBです。
3. 次のツールと最小バージョンを使用して、最大サイズ300TiBまでのFlexVolボリュームを作成できます。
  - Cloud Volumes ONTAP 9.12.1 P2 および 9.13.0 P2 以降の System Manager およびONTAP CLI
  - Cloud Volumes ONTAP 9.13.1から

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 ( Limit )
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16TiB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	32
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## Google CloudでのCloud Volumes ONTAPのストレージ制限

Cloud Volumes ONTAP には、安定した運用を実現するために、ストレージ構成の制限があります。最大のパフォーマンスを得るためには、システムを最大値で構成しないでください。

### ライセンス別の最大システム容量

Cloud Volumes ONTAP システムの最大システム容量はライセンスで決まります。最大システム容量には、ディスクベースのストレージに加えて、データの階層化に使用されるオブジェクトストレージが含まれます。

NetApp はシステム容量制限の超過をサポートしていません。ライセンス容量の制限に達した場合、NetApp コンソールにアクションが必要なメッセージが表示され、ディスクを追加できなくなります。

一部の構成では、ディスク制限により、ディスクのみを使用して容量制限に達することができません。を使用して容量の制限に達することができます ["使用頻度の低いデータをオブジェクトストレージに階層化します"](#)。詳細については、以下のディスク制限を参照してください。

#### 容量ベースのライセンスの容量制限

容量ベースのライセンスにより、各Cloud Volumes ONTAPシステムはオブジェクト ストレージへの階層化をサポートします。階層化された合計容量は、クラウド プロバイダーのバケット制限まで拡張できます。ライセンスには容量制限はありませんが、["『FabricPoolのベストプラクティス』"](#)階層化を構成および管理する際に最適なパフォーマンス、信頼性、コスト効率を確保します。参照 ["Google Cloud ドキュメント"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

#### 他のライセンスタイプの容量制限

使用許諾	最大システム容量 (ディスク + オブジェクトストレージ)
フリーミアム	500 GB

使用許諾	最大システム容量（ディスク + オブジェクトストレージ）
PAYGO Explore	2TB（Explore ではデータ階層化はサポートされません）
PAYGO Standard の略	10 TB
PAYGO Premium	368 TB
ノードベースのライセンス	2PiB（複数のライセンスが必要）

**HA** ペアの場合、ライセンスで許可されるノードあたりの容量制限はか、それとも **HA** ペア全体の容量制限ですか。

容量制限は **HA** ペア全体の容量制限です。ノード単位ではありません。たとえば、Premium ライセンスを使用する場合、両方のノード間で最大 368 TB の容量を確保できます。

**HA** ペアの場合、ミラーリングされたデータはライセンスで許可されている容量の上限にカウントされますか。

いいえ、違います。HA ペアのデータはノード間で同期的にミラーリングされるため、Google Cloud で障害が発生した場合でもデータを利用できます。たとえば、ノード A で 8 TB のディスクを購入した場合、コンソールはミラー化されたデータに使用されるノード B にも 8 TB のディスクを割り当てます。16 TB の容量が設定されていますが、ライセンス制限にカウントされるのは 8 TB のみです。

## アグリゲートの制限

Cloud Volumes ONTAP は、Google Cloud Platform のディスクを *Aggregate* にグループ化します。アグリゲートは、ボリュームにストレージを提供します。

パラメータ	制限（Limit）
最大データアグリゲート数 <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• シングルノードの場合は 99</li> <li>• HA ペア全体で 64</li> </ul>
最大アグリゲートサイズ	256 TB の物理容量 <sup>2</sup>
アグリゲートあたりのディスク数	1-6 <sup>3</sup>
アグリゲートあたりの RAID グループの最大数	1.

注：

1. データアグリゲートの最大数にルートアグリゲートは含まれません。
2. アグリゲートを構成するディスクによって、アグリゲートの容量制限が決まります。この制限には、データ階層化に使用されるオブジェクト ストレージは含まれません。
3. アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。

## ディスクと階層化の制限

次の表に、ディスクのみの場合の最大システム容量と、オブジェクトストレージへのディスクおよびコールドデータの階層化を示します。ディスク制限はユーザデータが格納されたディスクに固有です。ブートディスク、ルートディスク、NVRAMは制限に含まれません。

パラメータ	制限 ( Limit )
最大データディスク数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単一ノードシステムの場合は124</li> <li>• HA ペアの場合はノードあたり 123</li> </ul>
最大ディスクサイズ	64 TB
ディスクのみでの最大システム容量	256 TB^1
ディスクおよびコールドデータ階層化を使用した最大システム容量 Google Cloud Storage バケット	ライセンスによって異なります。上記の最大システム容量制限を参照してください。

^1 この制限は、Google Cloud Platform の仮想マシンの制限により定義されています。

## Storage VM の制限

一部の構成では、Cloud Volumes ONTAP 用に Storage VM ( SVM ) を追加で作成することができます。

これらはテストされた制限です。追加のストレージ VM の構成はサポートされていません。

["Storage VM を追加で作成する方法について説明します"](#)。

ライセンスタイプ	Storage VM の最大数
* Freemium *	合計24個のStorage VM : ^1
*容量ベースのPAYGOまたはBYOL * <sup>2</sup>	合計24個のStorage VM : ^1
*ノードベースのBYOL * <sup>3</sup>	合計24個のStorage VM : ^1
* ノードベースの PAYGO *	<ul style="list-style-type: none"> <li>• データ提供用の Storage VM × 1</li> <li>• ディザスタリカバリ用の Storage VM × 1</li> </ul>

1. これらの 24 個の Storage VM からデータを提供することも、ディザスタリカバリ ( DR ) 用に設定することもできます。
2. 容量ベースのライセンスの場合、追加の Storage VM には追加のライセンスコストは発生しませんが、Storage VM 1 台あたり最低容量は 4TiB 課金されます。たとえば、2 台の Storage VM を作成し、それぞれに 2TiB のプロビジョニング済み容量がある場合、合計で 8TiB の容量が請求されます。
3. ノードベースの BYOL の場合、Cloud Volumes ONTAP にデフォルトで付属する最初のストレージ VM を超える追加のデータ提供ストレージ VM ごとにアドオン ライセンスが必要です。ストレージ VM アドオン ライセンスを取得するには、アカウント チームにお問い合わせください。

ディザスタリカバリ ( DR ) 用に設定する Storage VM には追加ライセンスは必要ありませんが ( 無償 ) 、Storage VM の数は制限に含まれます。たとえば、ディザスタリカバリ用に設定されたデータ提供用の Storage VM が 12 台ある場合、上限に達し、それ以上 Storage VM を作成できません。

## 論理ストレージの制限

論理ストレージ	パラメータ	制限 ( Limit )
* ファイル *	最大サイズ <sup>2</sup>	128 TB
	ボリュームあたりの最大数	ボリュームサイズは最大 20 億個です
* FlexClone ボリューム *	クローン階層の深さ <sup>12</sup>	499
* FlexVol ボリューム *	ノードあたりの最大数	500
	最小サイズ	20 MB
	最大サイズ <sup>3</sup>	300TiB
* qtree *	FlexVol あたりの最大数	4,995
* Snapshot コピー *	FlexVol あたりの最大数	1,023

- クローン階層の深さは、1つの FlexVol から作成できる、ネストされた FlexClone ボリュームの最大階層です。
- ONTAP 9.12.1P2以降では、上限は128TBです。ONTAP 9.11.1以前のバージョンでは、最大16TBです。
- 次のツールと最小バージョンを使用して、最大サイズ300TiBまでのFlexVolボリュームを作成できます。
  - Cloud Volumes ONTAP 9.12.1 P2 および 9.13.0 P2 以降の System Manager およびONTAP CLI
  - Cloud Volumes ONTAP 9.13.1から

## iSCSI ストレージの制限

iSCSI ストレージ	パラメータ	制限 ( Limit )
* LUN*	ノードあたりの最大数	1,024
	LUN マップの最大数	1,024
	最大サイズ	16 TB
	ボリュームあたりの最大数	512
* igroup 数 *	ノードあたりの最大数	256
* イニシエータ *	ノードあたりの最大数	512
	igroup あたりの最大数	128
* iSCSI セッション *	ノードあたりの最大数	1,024
* LIF *	ポートあたりの最大数	1.
	ポートセットあたりの最大数	32
* ポートセット *	ノードあたりの最大数	256

## Cloud Volumes ONTAP HA ペアでは、ストレージの迅速な使用はサポートされません ギブバック

ノードがリブートしたら、ストレージを戻す前に、パートナーがデータを同期する必要があります。データの再同期にかかる時間は、ノードが停止している間にクライアントが書き込んだデータの量、およびギブバックの実行中のデータの書き込み速度によって異なります。

["Google Cloudで実行されるCloud Volumes ONTAP HAペアのストレージの仕組みを説明します"](#)。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。